

指定管理業務評価表

施設名	小牧児童館		
対象年度	24年度	評価担当部	健康福祉部
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・トーエネックグループ		
指定期間	H22年4月3日～H26年3月31日		
職員体制	常勤職員 2名 臨時職員 7名 合計9名		

1. 利用実績

(1) 利用者数

月	4	5	6	7	8	9	
人数	4,482	4,862	5,247	7,860	6,103	5,647	
月	10	11	12	1	2	3	合計
人数	5,171	6,162	6,718	4,781	5,309	5,676	68,018

(2) 増減要因

23年度より24年度は利用者が8,909人増加している。その要因は児童館の乳幼児親子を対象とした広場等の充実や、近隣の保育園、小学校との連携により行事イベントの周知等により利用者が増加したと考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	H24.10.6～H24.11.8（共通） H25.2（独自アンケート）	回答数	22人 27人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもとても綺麗で、利用しやすいです。</li> <li>・情報交換できたり、母親としても、学ぶ事が多く、洋服をリサイクルして頂いたり、助かっています。</li> <li>・友達も増えて、普段やった事がない遊びが出来る。利用させてもらい良かったと感じます。少し年が離れた友達も増えたようです。</li> <li>・初めての子育てで分からない事が多い中、いろんな人の話も聞けるし、お友達作りの出来る場があって良かったと思います。</li> <li>・夏時間など、夏はもう少し時間が長いといいです。</li> </ul>		
具体的な対応状況	利用者の安全や近隣への影響等を考えた開館時間であることをご理解いただき、情報提供や対応について継続中		

### 3. 収支の実績

(単位：円)

		23年度 (前年決算額)	24年度 (現年決算額)	25年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	24,200,000	24,800,000	25,300,000	年間委託料
	精算による返還金	0	△ 121,000	0	修繕費の返還
	合計	24,200,000	24,679,000	25,300,000	
支出	人件費	14,352,836	13,472,867	14,000,000	職員の昇給のため
	報償費	101,442	104,193	136,000	講師謝礼
	旅費	35,043	23,450	43,000	交通費・研修参加費
	需用費	2,482,393	2,672,161	3,253,000	児童館活動費等
	役務費	447,179	434,562	756,000	保険料等
	委託費	2,142,000	2,227,000	2,227,000	清掃委託・警備委託等
	その他	4,873,037	4,872,320	4,885,000	間接費・使用料等
	合計	24,433,930	23,806,553	25,300,000	
差し引き収支		△ 233,930	872,447	0	

#### 4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>仕様書、事業計画書に基づき概ね適正に実施されている。</p> <p>また、日常の来館者への対応や行事・イベントが適切に実施され、地域や関係団体との連携した事業展開も見られた。</p> <p>行事・イベントについては、利用者の増加が見られたもの、逆に予定の募集人数に達しなかったものなど結果は様々であったが、児童の健全育成や子育て支援の観点から必要と思われるものは、前年度の結果にとらわれず、実施内容等を精査したうえで継続的に実施していくことを期待する。</p>
維持管理業務	<p>駐車場、敷地内及び館内の日常清掃・定期清掃が実施されており、施設、設備の保守管理（点検や修繕等）についても適切に行われている。</p> <p>また、乳幼児が利用する玩具などは、口に触れてもよい安全な薬品で消毒がされており、適正な維持管理として評価できる。</p>
サービスの質	<p>職場内外研修等をとおして職員全体のスキルアップを図り、利用者の満足度の向上に努めている。</p> <p>利用者からの意見・苦情に対しては、概ね適切な対応がとられているため、より快適な施設運営に一層の努力を行っていくことを期待したい。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>最小限の経費の中で効率的に経費が使用されており、概ね計画通りに良好な執行がされていることは、適正な経理実施として評価できる。</p>
その他 (緊急時の対応等)	<p>消防・防災訓練を適正に実施している。</p> <p>危機管理マニュアルが整備、保管されており、ヒヤリハットは情報を全職員で共有し、適切な処置を行っていることは、適正な緊急時の対応等として評価できる。</p>